

平成29年度主な事業

復旧・復興活動拠点として「防災広場」整備へ

安全・安心

○高機能消防指令システム更新事業

新規 2億5,895万円

消防指令システムに新システムを導入することにより、操作のオートメーション化による指令操作の時間短縮、出動車両運用管理装置による詳細な情報の共有により、現場到着までの時間短縮を図ります。



○耐震性貯水槽整備事業

拡充 3,371万円

地震等で水道が寸断された場合でも消火活動が円滑に実施できるよう、耐震性の防火水槽を整備します。平成29年度は、新田辺西公園で設置工事を行うと共に、多々羅公民館建設予定地への設置の測量設計を行います。



○木造住宅耐震化促進事業(耐震シェルター設置補助拡充)

拡充 2,875万円

地震発生の際、倒壊等の危険性の高い木造住宅の耐震性の向上等を図り、地震に強いまちづくりを推進します。平成29年度は、高齢者や障がい者などが居住している場合に、耐震シェルター設置費用の一部を新たに補助します。



※耐震シェルターとは、住宅が地震によって倒壊した場合でも、安全な空間を確保することができる堅固な構造物で、住宅の1階(主に寝室となる部屋)に設置するもの。

○防災拠点等整備事業

新規 4億5,000万円

地震などの大災害に素早く対応できる防災拠点として、緊急輸送道路に指定されている京奈和自動車道田辺西インター近接地において、防災広場を整備します。(債務負担行為:平成29年度～平成33年度 4億5,000万円)



○ゾーン30設定地区内路面標示等設置事業

拡充 983万円

薪及び健康村地内において、新たに「ゾーン30」を設定するにあたって必要となる路面標示、啓発看板等を設置し、子どもや高齢者を交通事故から守る安全対策を推進します。



○高規格救急自動車更新事業

新規 3,281万円

常備消防力の充実強化を図るため、車両更新計画に基づき、北部分署の高規格救急自動車を更新します。



緑

○水辺の散策路整備事業

拡充 2,850万円

順次整備を進めている水辺の散策路について、普賢寺川ルートの一部のカラー塗装や、市域全域で路面標示等を設置すること等により、市民にとって一層親しみやすい散策路となるよう環境整備を行います。



○可燃ごみ広域処理施設整備事業

新規 4,200万円

甘南備園のごみ焼却施設建替のため、敷地造成にかかる実施設計等を行います。



【可燃ごみ広域処理施設イメージ図】※今後の事業進捗状況により変更する場合があります。

○遊歩道整備事業(山手東上西野線)

新規 8,900万円

松井山手地区と北部住民センターを結ぶ自転車歩行者道の整備を行います。(債務負担行為:平成29年度～平成32年度5,500万円)

○公園施設長寿命化事業(田辺公園、中央体育館)

継続 1億1,010万円

公園施設長寿命化の一環として、田辺中央体育館及び公園プール施設の設備等の改修を行います。



○触媒フィルター(バグフィルター)導入事業

新規 6,480万円

ダイオキシンの削減、使用薬品量の削減、冷却水量の削減等の観点から、「触媒フィルター」を導入することにより、環境汚染対策、ランニングコストの削減を図ります。

京田辺市平成29年度予算特集

未来の創造に向けた積極型予算を編成 ～防災・子育てに重点～

平成29年度当初予算 会計別歳出入内訳

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減 額	増減率 (%)
一 般 会 計	241億3,000万円	239億3,000万円	2億円	0.8
特 別 会 計	151億5,820万円	150億4,660万円	1億1,160万円	0.7
内 容				
休日応急診療所特別会計	2,310万円	2,310万円	-	0.0
松井財産区特別会計	1,050万円	8,600万円	△7,550万円	△87.8
国民健康保険特別会計	76億8,640万円	76億5,310万円	3,330万円	0.4
介護保険特別会計	43億9,960万円	43億8,660万円	1,300万円	0.3
後期高齢者医療特別会計	7億9,270万円	7億1,900万円	7,370万円	10.3
公共下水道事業特別会計	21億7,100万円	21億1,230万円	5,870万円	2.8
農業集落排水事業特別会計	7,490万円	6,650万円	840万円	12.6
水道事業会計	27億1,300万円	26億8,620万円	1,510万円	0.6
合 計	419億8,950万円	416億6,280万円	3億2,670万円	0.8

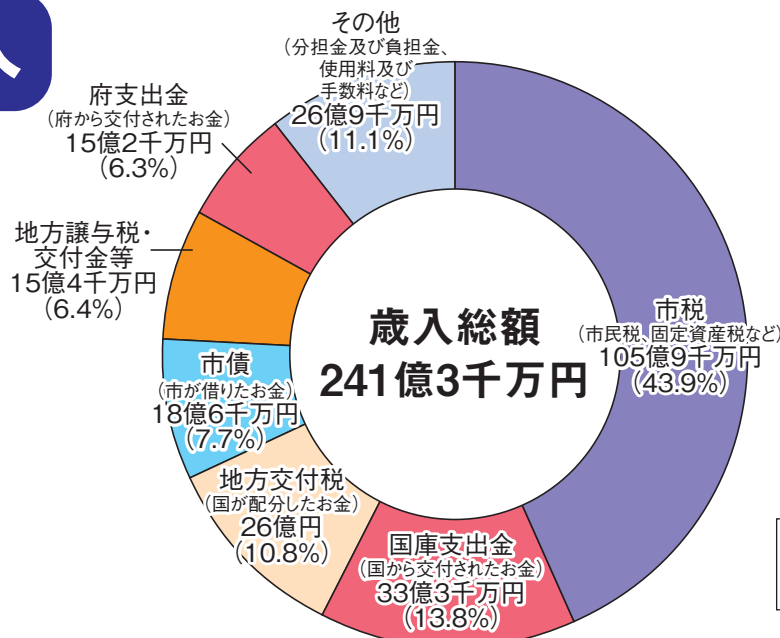
平成29年度一般会計当初予算は、本市が目指す都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」実現のため、後期基本計画「まちづくりプラン」に基づき、まちづくりの羅針盤である第3次総合計画の総仕上げに向けて、各分野において重点プロジェクトの早期実現のための積極型予算を編成したことから、一般会計当初予算総額は過去最大となる241億3,000万円となりました。

平成29年度予算においては、「まちづくりプラン」における「安全・安心」「緑」「健康」「文化・教育」「田園都市」の5つのキーワードに沿った事業を中心に予算を配分しました。

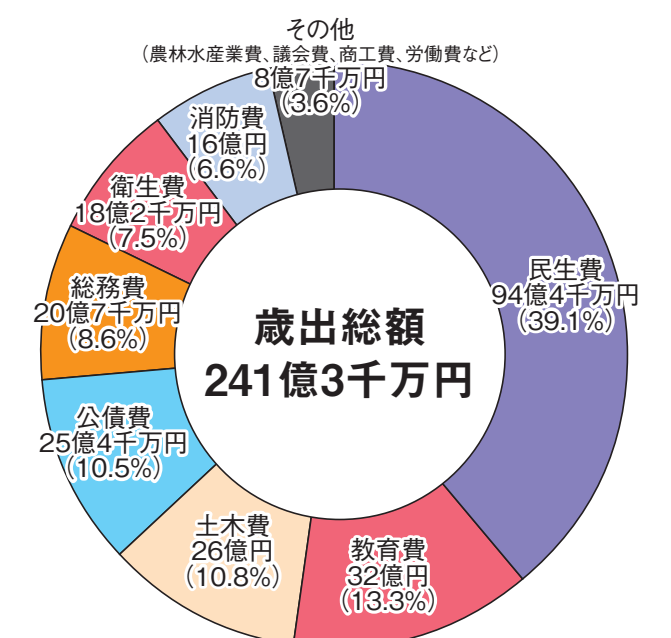
さらにこれらの施策を進めるために、経常経費が増大する厳しい財政状況の中、自主財源の確保、事務事業の効率化や適正化等の取り組みを予算に反映しました。

また、平成29年4月1日に、本市は市制20周年を迎えます。積み重ねた歴史、先人たちの業績に思いをはせながら、さらなる飛躍の第一歩とするため、「市制20周年記念式典」や「京田辺市展」等の記念事業を開催するとともに、市民を主体とした記念事業を後押しする「市民提案事業」「区・自治会提案事業」への支援などの予算を盛り込みました。

歳入



歳出



市税 市民税、固定資産税など、105億9千万円を計上しました。

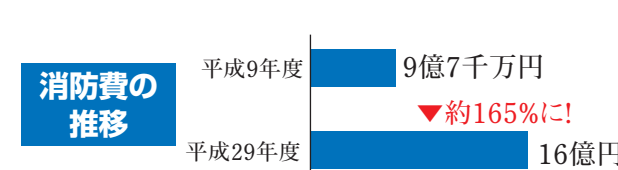
国庫支出金 児童手当負担金や道路整備に対する補助金など、33億3千万円を計上しました。

民生費 生活保護費や児童手当費など、94億4千万円を計上しました。

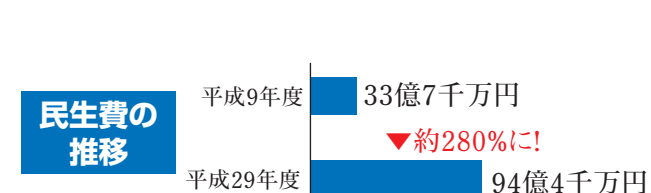
教育費 三山木小学校増築事業や小学校・中学校・幼稚園運営費など、32億円計上しました。

◆市制開始からの20年を振り返る ～「安全・安心」「子ども子育て」の充実～

京田辺市は、平成29年4月1日に市制開始から20年を迎えました。この間本市は、特に「だれもが安全で安心できるまちづくり」「誰にもやさしい健やかで幸せなまちづくり」を推進し、ソフト、ハード両面で様々な整備、拡充を行ってきました。20年前の予算との比較や主な拡充内容は下記のとおりです。



【20年間で充実してきたこと】
・はしご車などの消防車両の購入など、常備消防力の強化
・消防団積載車や小型動力ポンプの整備など、消防団の強化
・洪水ハザードマップ、地域土砂災害避難マップの作成や自主防災組織設置補助金の新設など、防災体制の強化



【20年間で充実してきたこと】
・河原保育所、三山木保育所の建替など(4月1日時点での園児数は、平成9年度の262人から、平成28年度には665人に)
・松井ヶ丘保育園やみづく保育園の新築工事支援など(4月1日時点での園児数は、平成9年度の220人から、平成28年度には588人に)
・病児病後児保育事業を市内2箇所で開催、子育て支援センターを市内3箇所で開催など



平成29年度主な事業

ふるさとへの誇りや愛着を育むため市史を編さん

文化・教育

○三山木小学校増築事業

継続 5億1,690万円

大規模住宅開発等に伴う児童数の増加による教室不足を解消するため、校舎の増築とともに既存校舎の大規模改修を含む学校全体の施設整備を行っています。平成29年度は最終年度となり、周辺の外構工事などを行います。総事業費25億160万円(平成26年度～平成29年度)



○田辺中学校屋内体育館 防災機能強化事業

新規 1,910万円

老朽化が目立つ田辺中学校屋内体育館について、耐震補強に係る実施設計を行います。

○文化活動コーディネーター窓口整備事業

新規 145万円

市民による文化活動を活性化するため、中央公民館に文化活動に関するコーディネーター機能を有する相談窓口を整備します。

○小中学校トイレ環境改善事業

拡充 551万円

市内の各小中学校の小便器に尿石除去剤を導入することにより悪臭を未然に防止し、学校トイレの環境改善を図ります。

○全国小学生ハンドボール大会(30回記念大会)開催事業

拡充 1,254万円

全国小学生ハンドボール大会が30回記念大会を迎えるにあたり、空調機器を設置し快適で安全な競技環境を確保するとともに、全国大会開催地としての会場運営や市内外への情報発信を行います。



○京田辺市史編さん事業

新規 445万円

昭和43年の『田辺町史』の刊行から約50年が経過し、最新の知見に基づく見直しや市制施行を経た本市の歴史をたどることを通じて、ふるさとへの誇りや愛着を育み、地域の将来像を描く基礎とするため、市史編さんに取り組みます。

○京都サンガ応援バスツアー開催事業

新規 18万円

市制20周年を契機に、京都サンガFCが開催するホームタウン京田辺市応援デーにおいてバスツアーを開催し、応援を通して市民の「見るスポーツ」の推奨を図ります。



田園都市

○「お茶の京都」推進事業

新規 1,155万円

平成29年度がターゲットイヤーとなる京都府と南部12市町村による「お茶の京都博」のエリアイベント「(仮称)世界遺産シンポジウム」と「全国玉露のうまい淹れ方コンテスト大会」開催にかかる経費、お茶の京都DMOによる広域観光推進事業に要する経費について、本市負担分として提出します。



○「ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ」開催準備事業

継続 450万円

国際自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン」京都ステージの開催に向け、大会実行委員会に対し、広報・宣伝、会場設営、警備等大会運営に要する経費を負担するなど、開催に向けた準備を行います。



○新田辺駅東地区まちづくり事業

新規 1,400万円

新田辺駅東地区のまちづくり事業について、事業区域の設定、事業主体、事業手法等の検討を行います。

○京田辺市立地適正化計画策定事業

継続 1,000万円

将来の人口減少、少子高齢化の進行、市街地の拡散といった課題に対して生活利便性の維持向上や地域経済活性化等の観点からコンパクトシティの実現を目的として策定します。(H28からの継続事業)

○大住草内線整備効果検討事業

新規 550万円

将来の都市構造の変化を踏まえた道路交通網として、都市計画道路大住草内線の必要性を検証するとともに、当該道路の整備に伴う沿道の土地利用の促進や治水対策等の事業効果を検証し、その整備効果を検討します。

○中小企業成長支援事業

拡充 1,300万円

競争にうち勝つ強い中小企業育成のため、補助上限額の引き上げ、件数拡充などを実施するとともに、「従業員研修」「新製品共同開発」「企業連携」に対する補助を新設します。

○興戸久保地内排水路整備事業

新規 2,000万円

興戸地内の排水困難地の解消に対応するため、調査・設計等を行います。

○東地区農地乾田化事業

新規 500万円

農業基盤整備の一環として、東地区の農地乾田化のための工事を実施します。

平成29年度主な事業

待機児童対策のため河原保育所に仮設園舎を整備

健康

○河原保育所仮設園舎整備事業

新規 708万円

待機児童対策のため、河原保育所東側駐車場西側を借用して仮設園舎を建設し、保育所機能の確保及び子育て支援の充実を図ります。

現在河原保育所の地域子育て支援センターは、支援センターの部屋を保育室に転用することで、一定の制約のなかで運営していますが、今回保育室と併せて支援センターの部屋を整備することにより安定した活動場所を確保し、子育て支援の充実を図ります。

○子育てひろば地域支援事業(訪問相談支援拡充)

拡充 136万円

地域子育て支援の拠点である「子育てひろば」に訪問相談支援事業を追加し、地域に根ざした子育てサポートを実施します。



○高齢者身近な居場所づくり補助金

新規 60万円

高齢者が住み慣れた地域で支え合い、生きがいを持ち、暮らし続けるために、市内の区及び自治会の公民館で実施する、オリジナル体操を中心とした介護予防の取り組みに対して補助金を交付します。



○基幹相談支援センター開設事業

新規 404万円

障害者支援のため、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として基幹相談支援センターを設置し、障害者の相談支援体制の充実を図ります。



○「歩く健康づくり」事業

新規 50万円

市役所庁舎内に市民が気軽に利用できる健康スポットを設置し体組成計などを常設するとともに、公共施設に歩数や距離などを表示します。また、健康教室やイベントで「足の健康づくり」を啓発し、「歩く」健康づくりを推進します。



○10代からの健康増進事業(健診対象者拡充)

拡充 149万円

若年層の健康管理、生活習慣改善のため、新たに健診を受ける機会がない若い世代(16歳から29歳)向けの健康診査などを実施します。



○「京田辺発」健康食いきいきレシピ

拡充 85万円

市食生活改善推進員により開発したレシピを市民向けに普及するため、「特産品探検教室」として、京田辺の特産品の生産過程から知る体験とレシピを使った料理教室を開催します。



○放課後子ども総合プラン事業

新規 15万円

従来の放課後子どもプラン企画委員や市生涯学習人材バンクの指導者を「放課後子ども総合プラン企画委員」として再編成し、毎週水曜日の放課後に自主学習の補助と体験活動を組み合わせたプログラムを実施します。

※市内1校をモデル校として開催。

市制20周年記念事業

○市制20周年記念式典開催事業

新規 440万円

市民とともにこれまでの歩みを振り返り、これからのあるべき姿を考え、さらなる飛躍に向けた第一歩とするため、市制20周年記念式典を開催します。

○「京田辺市展」開催事業

新規 280万円

芸術家の創作活動の振興を図るとともに、市民に鑑賞機会を提供し、京田辺文化の発展に寄与することを目的として「京田辺市展」を開催します。

○市民提案事業、区・自治会提案事業補助金

新規 510万円

市制20周年の節目を迎え、市民が主体となったまちづくりの理念を次世代に継承するため、市民や区・自治会が行う自主的な活動に対して助成を行います。

○NHK「のど自慢」等公開番組誘致事業

新規 782万円

市制20周年の節目を迎えるにあたり、NHK全国放送公開番組(のど自慢、ラジオ体操等)を誘致し、多くの人々が交流し楽しめる場所を提供し、地域のつながりを深める機会を設けます。

○田辺公園花見山スケートパーク 京田辺市長杯開催事業

新規 60万円

東京オリンピックの種目にも採用されたスケートボードを気軽に楽しむことができる近隣でも数少ない施設である花見山スケートパークにおいて、市制20周年を記念して初級者から上級者までが参加できる競技大会を開催します。

